

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(平成 28 年 7 月解析分)

■ 今月のトピックス ～夏の蚊対策国民運動について

国内における蚊の活動時期に備えるとともに、今夏にリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、多くの渡航者が見込まれることから、国、地方自治体、企業をはじめ国民全体で「夏の蚊対策国民運動」が展開されます。

蚊の発生源対策、虫除け剤を使用した防蚊対策等に心がけ、蚊が媒介する感染症から身を守りましょう。

なお、蚊に刺されて、発熱、発疹等の症状がある場合は、かかりつけの医療機関などを受診してください。



■ デング熱・ジカ熱について

デング熱やジカウイルス感染症（ジカ熱）の原因となるウイルスは、それらに感染したヒトの血を吸った蚊（日本ではヒトスジシマカ）の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。

感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹といった症状が1週間ほど続きます。

ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子供が生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化する可能性があります。



■ 予防方法

【蚊の発生を防ぎましょう】

- ・雨水がたまった容器（植木鉢の水受け皿、古タイヤ、汲み置き水等）の水をなくす。
- ・やぶ、草むらは刈取り、日当たりと風通しを良くする。

【蚊に刺されないようにしましょう】

- ・日中、蚊の多い場所に行くときには、長袖、長ズボン等を着用し、肌の露出を避ける。
- ・虫除け剤を使用する。

【その他】

- ・デング熱は、東南アジアやアフリカ、中南米等、広範な地域で流行しており、海外で感染後帰国し、国内で発症した症例が、毎年、全国で200例程度報告されています。
- ・流行地に渡航する際には、蚊に刺されないように気を付けましょう。



IASR



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成28年6月分(平成28年6月6日～平成28年7月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	2	0.00	0.06	↓	11	ヘルパンギーナ	485	1.68	1.21	↗
2	RSウイルス感染症	46	0.16	0.07	→	12	流行性耳下腺炎	190	0.66	0.66	→
3	咽頭結膜熱	302	1.05	0.98	↗	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	703	2.44	2.23	→	14	流行性角結膜炎	59	0.80	1.03	→
5	感染性胃腸炎	1,566	5.44	5.34	↘	15	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.02	
6	水痘	118	0.41	0.93	→	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.05	
7	手足口病	52	0.18	2.72	↑	17	マイコプラズマ肺炎	40	0.48	0.21	↗
8	伝染性紅斑	253	0.88	0.28	↗	18	クラミジア肺炎	2	0.02	0.00	
9	突発性発しん	119	0.41	0.64	↘	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8	0.10	—	↓
10	百日咳	20	0.07	0.06	↑						

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成28年6月分(6月1日～6月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	44	1.91	2.28	↘	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	71	3.38	4.50	↗
21	性器ヘルペスウイルス感染症	23	1.00	0.84	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	10	0.48	0.74	↘
22	尖圭コンジローマ	24	1.04	0.67	↗	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.05	
23	淋菌感染症	17	0.74	0.78	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(定点当たり前比2倍以上増減)

- 急増疾患 手足口病 (0.09 → .018)
- 急増疾患 百日咳 (0.01 → 0.07)
- 急減疾患 インフルエンザ (0.24 → 0.00)
- 急減疾患 感染性胃腸炎(ロタウイルス) (0.64 → 0.10)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	45	結核(45)〔西部保健所(2),西部東保健所(4),東部保健所(6),北部保健所(1),広島市保健所(17),呉市保健所(6),福山市保健所(9)〕
三類	7	腸管出血性大腸菌感染症(7)〔西部東保健所(2),東部保健所(1),広島市保健所(4)〕
四類	9	A型肝炎(1)〔西部保健所(1)〕, レジオネラ症(3)〔広島市保健所(3)〕, 日本紅斑熱(5)〔西部東保健所(1),呉市保健所(1),福山市保健所(3)〕
五類全数	22	アメーバ赤痢(3)〔広島市保健所(2),福山市保健所(1)〕, ウイルス性肝炎(A型,E型を除く)(1)〔福山市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(8)〔東部保健所(1),広島市保健所(5),呉市保健所(1),福山市保健所(1)〕, クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所(1)〕, 急性脳炎(1)〔東部保健所(1)〕,後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕, 侵襲性インフルエンザ球菌感染症(1)〔東部保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔東部保健所(1)〕,水痘(入院例)(1)〔北部保健所(1)〕, 破傷風(1)〔広島市保健所(1)〕,梅毒(2)〔広島市保健所(2)〕